

がん治療の「いま」を知り、「これから」を生きる

参加
無料

事前申込制

700名

神戸医療産業都市は、阪神・淡路大震災からの復興プロジェクトとしてゼロからスタートし、20年で日本最大級のバイオメディカルクラスターに成長しました。本講演会では、この医療の集積地である神戸から、かつては不治の病と言われたがん治療の最前線や広がる選択肢についての最新情報を伝えます。

日時

2019年 **1月27日** 13:30～(13:00開場 16:00終了予定)

場所

神戸国際会議場 メインホール

(神戸市中央区港島中町 6丁目 9-1)

[アクセス] ポートライナー「市民広場(コンベンションセンター)」駅から回廊で直結

PROGRAM

神戸医療産業都市の紹介

基調講演

“大切な人の「想い」とともに”

一般社団法人清水健基金 代表理事 **清水 健氏**

医療機関による先端的診断・治療等の紹介

医療現場から届ける がん治療最前線

神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科部長 **安井 久晃氏**

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科医長 **馬屋原 博氏**

神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター センター長 **味木 徹夫氏**

企業による研究発表

次世代乳がん検診に向けた 世界初のマイクロ波マンモグラフィの 開発と臨床研究

株式会社 Integral Geometry Science 企業戦略企画担当取締役
神戸大学 数理データサイエンスセンター 教授

木村 建次郎氏

一般社団法人清水健基金 代表理事

清水 健氏

2001年読売テレビ入社。16年、妻・奈緒さんの一周忌に、闘病生活を中心に家族3人の歩みをつづった「112日間のママ」(小学館)を出版。「一般社団法人清水健基金」を設立し、がん撲滅や入院施設の充実などに取り組む個人・団体の事業に寄付している。2017年に読売テレビを退社、現在は自身の経験をもとに国内外で講演活動を行い、支援の輪を広げる活動に従事する。



“大切な人の「想い」とともに”

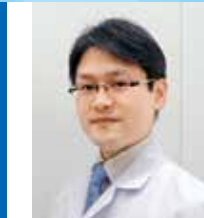


一般社団法人清水健基金 代表理事 **清水 健氏**

がんの先進的治療だけでなく、QOL向上を目的とした緩和ケアなどを受けることができる神戸医療産業都市。ここにある「チャイルド・ケモ・ハウス」で、妻と長男の3人で静かに別れの時を迎えました。一人でも笑顔の人が増えて欲しい、一人でも悲しむ人が減って欲しい…。現在は、この「想い」を伝え、人々に心身ともに豊かな生活を送ってもらうことを目指して活動しています。本講演では、命の尊さ、大切な人を守るためにできること、これからの医療や神戸医療産業都市に期待することなどをお話します。

医療機関による先進的診断・治療等の紹介

治療現場から届ける がん治療最前線



市民病院が担うこれからのがんゲノム医療

神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科部長 **安井 久晃氏**

がん細胞の遺伝子解析を行うことによって、がん発症の原因となる遺伝子の異常が見つかり、最適な治療薬を選択できる可能性があります。これまで無料で行われていた遺伝子パネル検査の一部は、平成31年度に保険適応となる見通しであり、今後多くの患者さんで実施されることが予想されます。一人ひとりの患者さんの病気に応じた個別化医療を目指す「がんゲノム医療」について、当院での現状と展望をお話します。



神戸低侵襲がん医療センターにおける最新の放射線治療

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科医長 **馬屋原 博氏**

当院はメスを使わない、放射線療法と薬物療法を中心とする新しいタイプのがん専門病院として平成25年に開院しました。「サイバーナイフ」「トゥルービーム」「トモセラピー」の3台の高精度放射線治療装置を保有し、患者さんお一人ずつの病状に合わせた、からだにやさしいがん治療を行っています。今回の講演会では、最新の放射線治療について当院での実例や治療成績を交えながら市民のみなさまにわかりやすくご説明します。

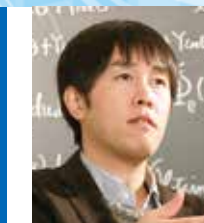


神戸大学国際がん医療・研究センター(ICCRC)の取り組み

神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター センター長 **味木 徹夫氏**

ICCRCは平成29年4月に開院した新しい神戸大学の第2の病院です。先進的な手術治療と国際診療の推進を2本の柱としています。鏡視下手術などの低侵襲手術を中心に行っており、総合病院である医学部附属病院(大倉山)と役割分担をしています。平成31年度に始まる消化管の内視鏡治療(ESD)や、国産の手術支援ロボットの導入など、新たな取り組みについてもご紹介いたします。

企業による研究発表

次世代乳がん検診に向けた世界初のマイクロ波マンモグラフィの開発と臨床研究
— 高濃度乳房にも有効な痛みのない、被曝のない造影剤を用いない高感度乳がん画像診断技術の実現 —

株式会社 Integral Geometry Science 企業戦略企画担当取締役 神戸大学 数理データサイエンスセンター 教授 **木村 建次郎氏**

近年、X線マンモグラフィの適用が困難な、若年層の多くを占める高濃度乳房に関する no information 問題が世界中でクローズアップされています。我々は、高濃度乳房の課題を解決する次世代乳癌検診技術「マイクロ波マンモグラフィ」の開発に世界で初めて成功しました。本講演では、機器の実用化と普及によって実現可能な、乳がんの早期発見、非効率的な過剰診断の縮小などについて具体的にご説明します。

お申し込み・お問い合わせ

FAX の場合は①住所②氏名③年齢④職業 (学生の方は学校名と学年)⑤電話番号⑥参加人数(代表者含む)と「神戸講演会」係を明記し、下記宛先にお送りください。インターネットの場合は、右記サイトにアクセスし、専用フォームに入力してください。

お問い合わせ:「神戸医療産業都市20周年記念市民講演会」事務局
TEL 06-6364-9005(平日10:00~17:00)

※応募多数の場合は抽選となります。当選発表は参加証の発送をもって代えさせていただきます
※応募に関する個人情報は、本件以外には使用しません
※プログラムは現段階の予定であり、今後変更する場合があります

インターネット

<https://www.yomiuri-osaka.com/kobe20>



締め切り

1月18日(金)必着

神戸医療産業都市20周年記念市民講演会参加希望用紙

FAX送り先

06-6366-2333

ふりがな	年齢	職業 (学生の方は学校名と学年)
お名前		
ご住所(会社所在地) □□□-□□□□	お電話番号	
参加人数 (代表者含む)		